

リーダー教えて

「あんなか再起動プロジェクト」って？

令和4年6月28日から始動した「あんなか再起動プロジェクト」。10月31日で区切りを迎えました。そこで、プロジェクトのリーダーである岩井市長に、プロジェクトを立ち上げた理由、目的、これからの展望などを聞きました。

プロジェクトチームをなぜ結成？

安中市の存在感が薄くなっている、今後が心配との声をたくさん聞きました。市民の皆さんが感じている「不安」や「心配」をなんとか払拭し、安中市が向かう方向性を明確にしたいとの思いから、プロジェクトチームを立ち上げ



る必要があると思っています。実は市長選の前からプロジェクトチームの構想は私の中にありまし

若手職員に「発想の柔軟性」と「新たな提案」を期待

チームメンバーは、当初の予定では幹部職員のみで構成しようと思っていました。しかし、安中市の方向性を明確にするために、若手職員をメンバーに入れて、若手職員ならではの「発想の柔軟性」と「新たな提案」を期待していました。1人募集のところ、4人の申込があり、それぞれの考え方をレポートを通じて確認しましたが、非常に真剣に安中市のことを考えてくれて



いると感銘を受け、全員をメンバーに加えました。プロジェクトに対して、素晴らしい提案もあり、若手職員を入れたことは大成功でした。

予定通りに進んだ？

このプロジェクトチームの役割は、公約として掲げた93施策を短期・中期・長期に仕分けることでした。これが非常に大きな課題でした。各部署との連携をとりながら検討を進めました。その結果、メンバー全員の協力もあり、私の公約93施策、さらに若手メンバーから提案された4施策を加えた全97施策の方向性、短期・中期・中長



期の時間軸を約4か月で設定することができました。このことから、最終的には予定通り進めることができたと考えています。

市の課題への取組方法

今回のプロジェクトチームの役割は先述のとおりお伝えしましたが、実はこれからの非常に重要です。短期・中期・長期に仕分けた施策の進行管理を行う必要があります。仕分けした施策を先送りすることは、よくないと思っています。短期なら短期で進



行管理をする部署と実行部署がしっかりと連携をし、着実に実施していかなければなりません。このプロジェクトを安中市がさらに発展するきっかけのひとつにしていきます。

プロジェクトチームの今後

安中市はさまざまな課題に直面しており、おそらく多くの自治体も同様ではないでしょうか。これから次々と新しい課題が浮き彫りになってくるのではないかと



と考えています。今後も必要に応じて、チームを立ち上げたいと思います。その際には、今回のように若手職員も加えたいと思っています。また、行政には女性の視点も非常に重要です。多くの視点で課題解決に取り組んでいきたいと考えています。